

沖縄の歴史を通して沖縄問題を考える

伊藤久雄（認定NPOまちぽっと理事）

この論考は、ブックレット『北東アジアの平和と沖縄問題』（参加型システム研究所発行）に所収されているものです。著者は、川平朝清（かびらちょうせい）氏（昭和女子大名誉理事・名誉教授）です。

沖縄の歴史を琉球王国成立の時代から現代まで、大変わかりやすくまとめられておられるので紹介する次第です。目次は以下のようになっています。

- ◆はじめに
- ◆琉球王国の成立
- ◆琉球処分とその後の沖縄県
- ◆旧慣是正を支援し、文化等を奨励し、県民福祉に配慮したヤマトンチュ
- ◆米軍統治時代
- ◆在日米軍基地の沖縄への集中化
- ◆沖縄に影響を残したアメリカ人
- ◆沖縄の施政権返還
- ◆沖縄の社会資本の充実と今後の県政問題
- ◆平和を願って
- 川平朝清氏プロフィール

沖縄の問題は沖縄の歴史を通してしか考えられないことを、あらためて痛感する論考です。ぜひ一読してください。

なお、ブックレット『北東アジアの平和と沖縄問題』には、川平氏の論考のほかに、次の2点が所収されています。

- ◇ 沖縄の今と自己決定権 新垣 毅（琉球新報社編集局政治部長）
- ◇ 日米地位協定の課題と北東アジアの平和構築を考える 滝本 匠（琉球新報東京支社報道部長）